

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

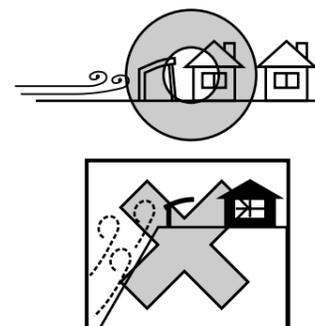
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・メジャーポートRウッド調（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合や、サイドパネルを取付ける場合は、補助柱で製品の補強をした上、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、又は風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）



●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立ねじ・ボルトで固定してください。

●基礎

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4週の囲いなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

- ・指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

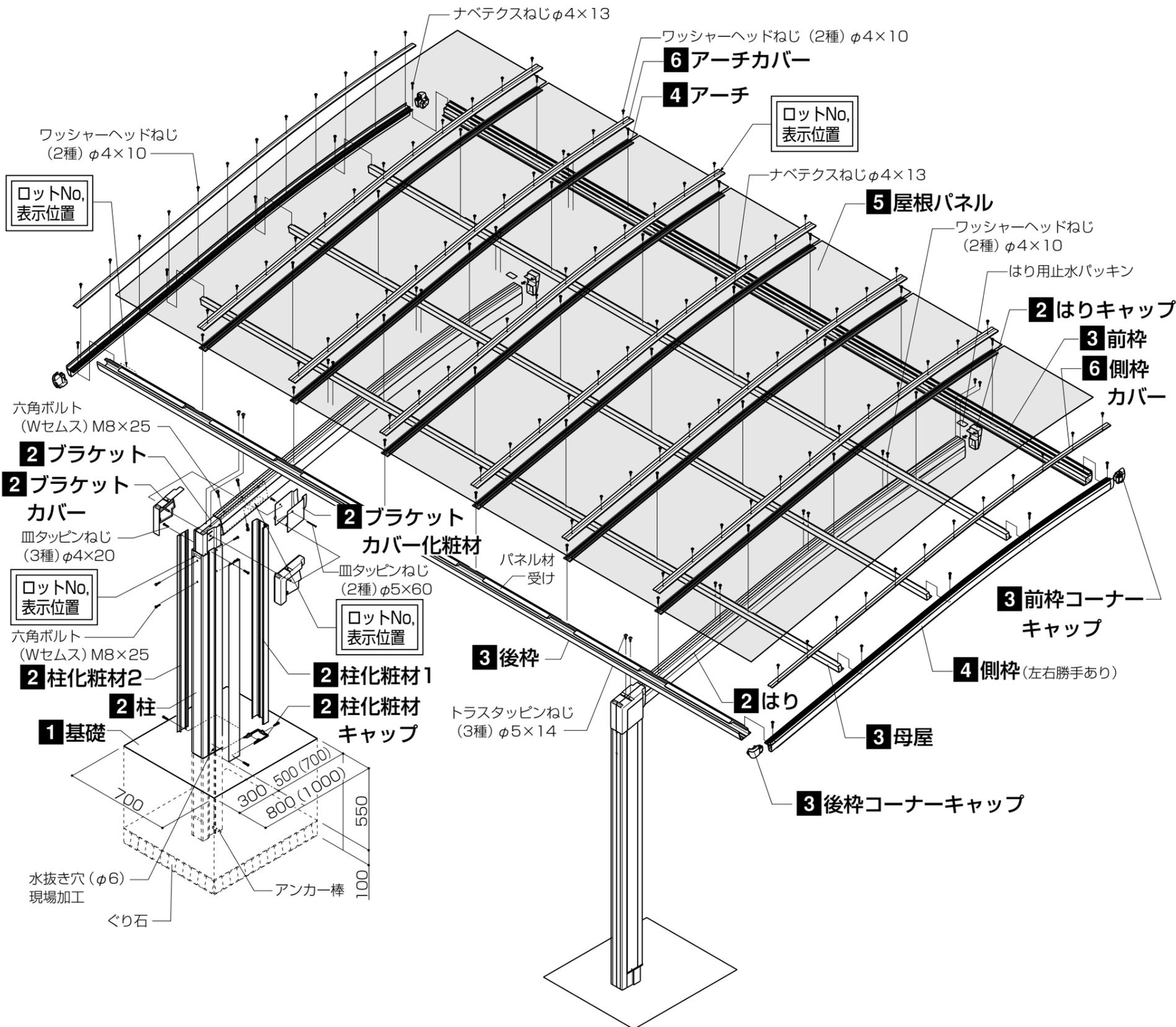
- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ型材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。

構造説明図

※本図はメジャーポートRウッド調デコレーションタイプの取付け例を示します。
 ※ () 内寸法は30サイズの場合を示します。



取付け順序

1 基礎の施工



取付け詳細

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

■墨出し位置

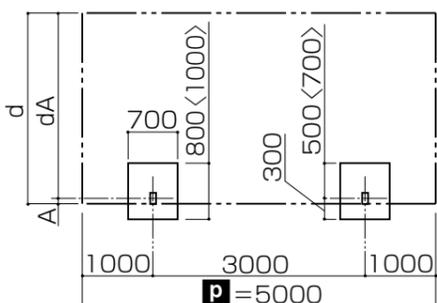
※柱の移動は±100mm以内です。

※〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

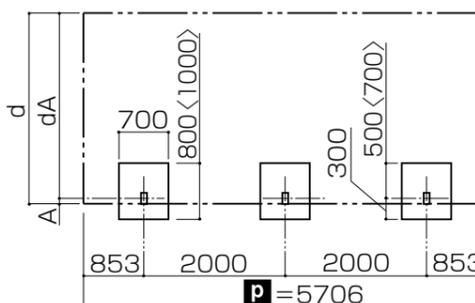
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2319	81
25.5	2551	2469	81
27	2701	2619	81
30	3000	2917	83

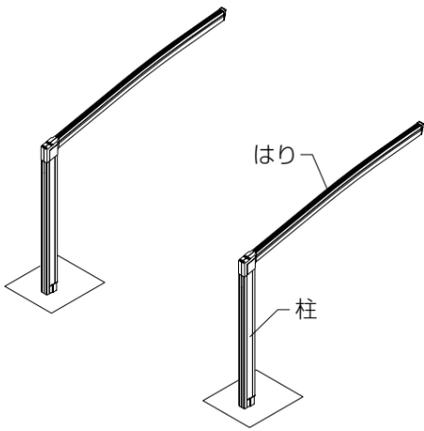
●50サイズ



●57サイズ



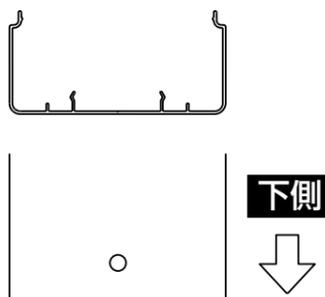
2 柱とはりの取付け



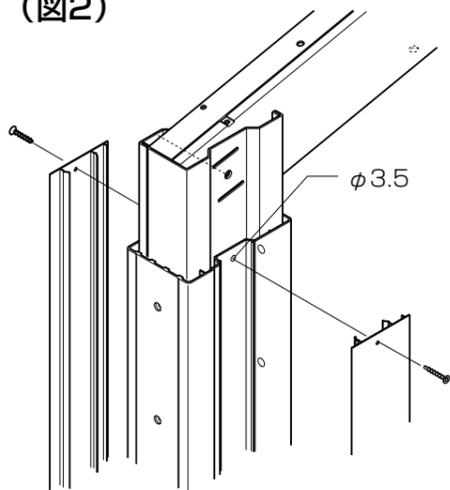
▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングをしてください。
- 柱とはりを固定するボルトは必ず増締めを行ってガタつかないことを確認してください。

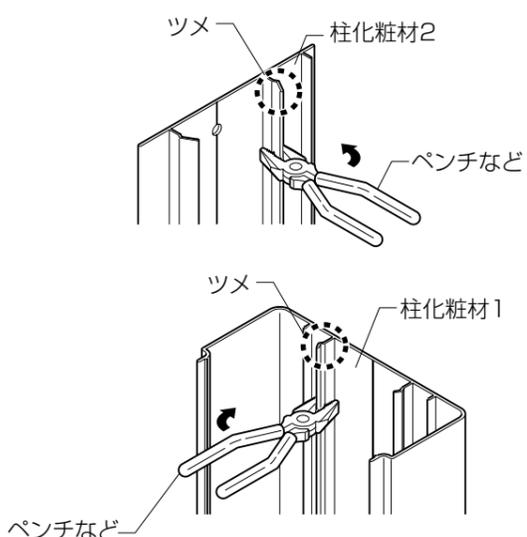
●柱化粧材1(図1)



●柱の穴加工(デコレーションタイプ)(図2)



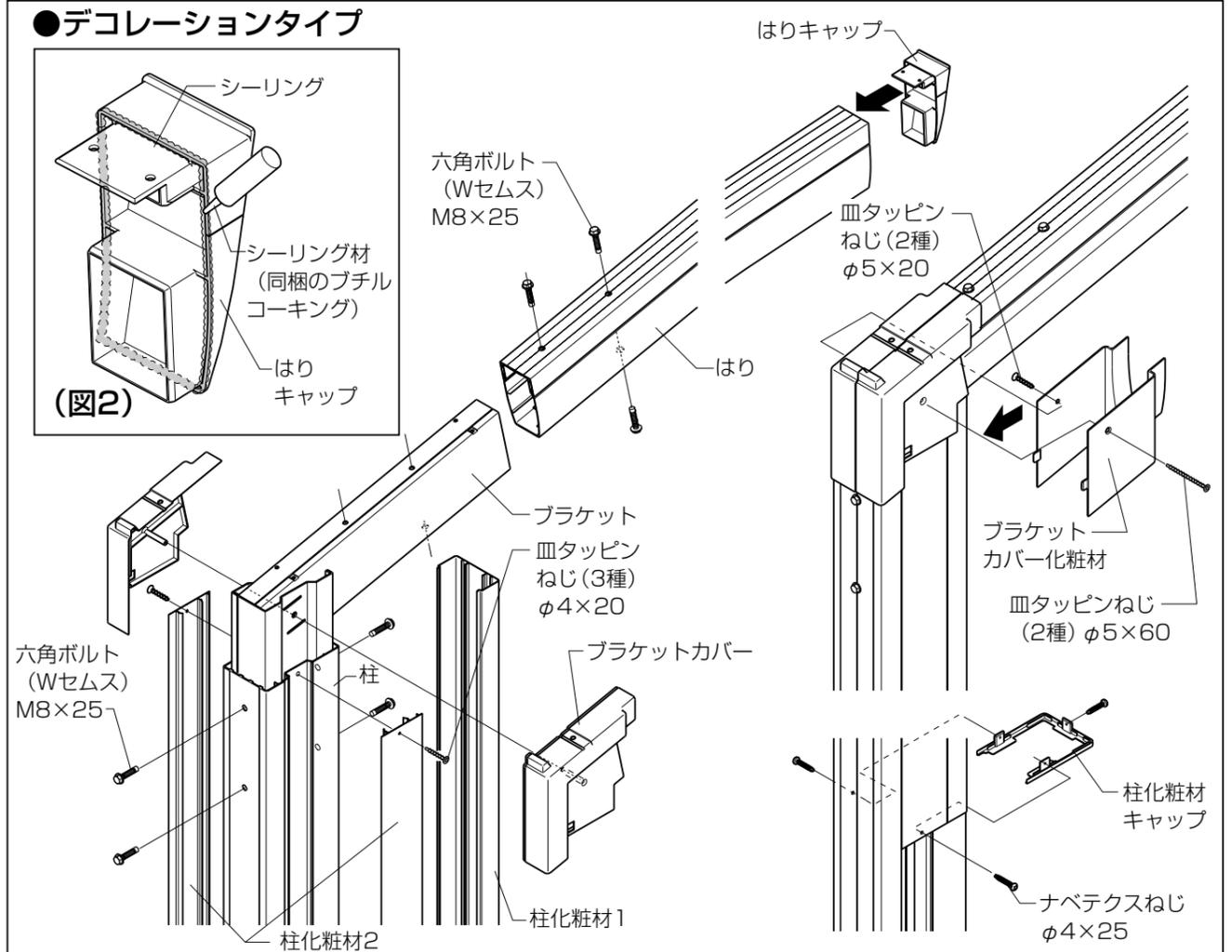
- ※柱化粧材取付け後、ガタツキの有無を確認してください。
- ※柱化粧材1、2の取付けが緩い場合は、ペンチなどでツメを広げて取付けてください。



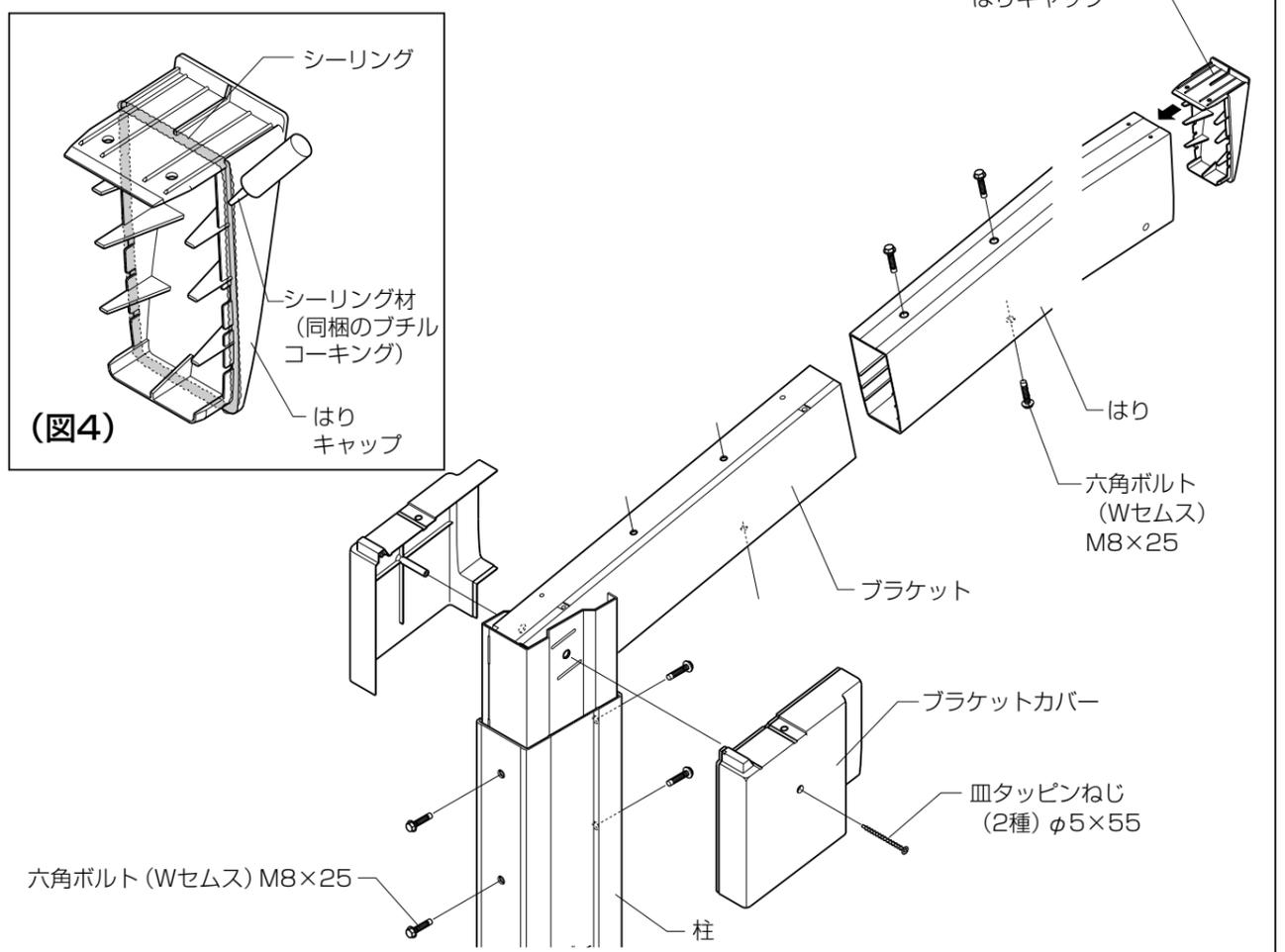
2 柱とはりの取付け

- ①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
- ②柱化粧材1、2を柱に取付けます。
※柱化粧材1、2はデコレーションタイプのみです。
※柱と柱化粧材1、2の上端を合わせて取付けてください。
※柱化粧材1は加工穴がある方が下側になります。(図1)
※柱化粧材2の上側の穴に合わせ、柱に $\phi 3.5$ の穴を開けてください。(図2)
- ③はりをブラケットに取付けます。
- ④ブラケットカバーを取付け、ブラケットカバー化粧材をはめ込んでねじ止めしてください。
※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。
※ブラケットカバー化粧材はデコレーションタイプのみです。
- ⑤はりキャップにコーキング材を充てんし(図3.4)、はりに取付けます。
- ⑥柱化粧材キャップを取付けます。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦樋セットを取付けると、表示が見えなくなります。縦樋セットの取付けない側に表示ラベルを向けてください。

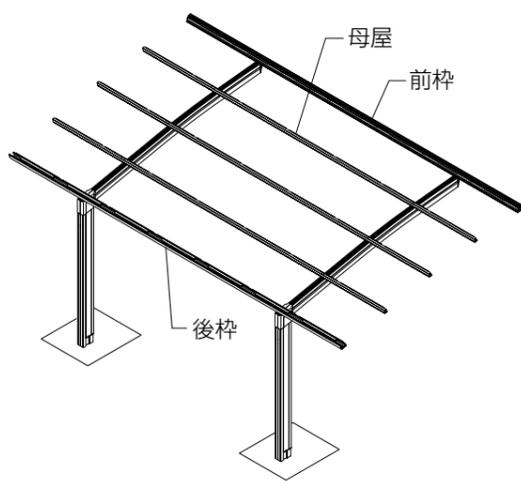
●デコレーションタイプ



●標準タイプ

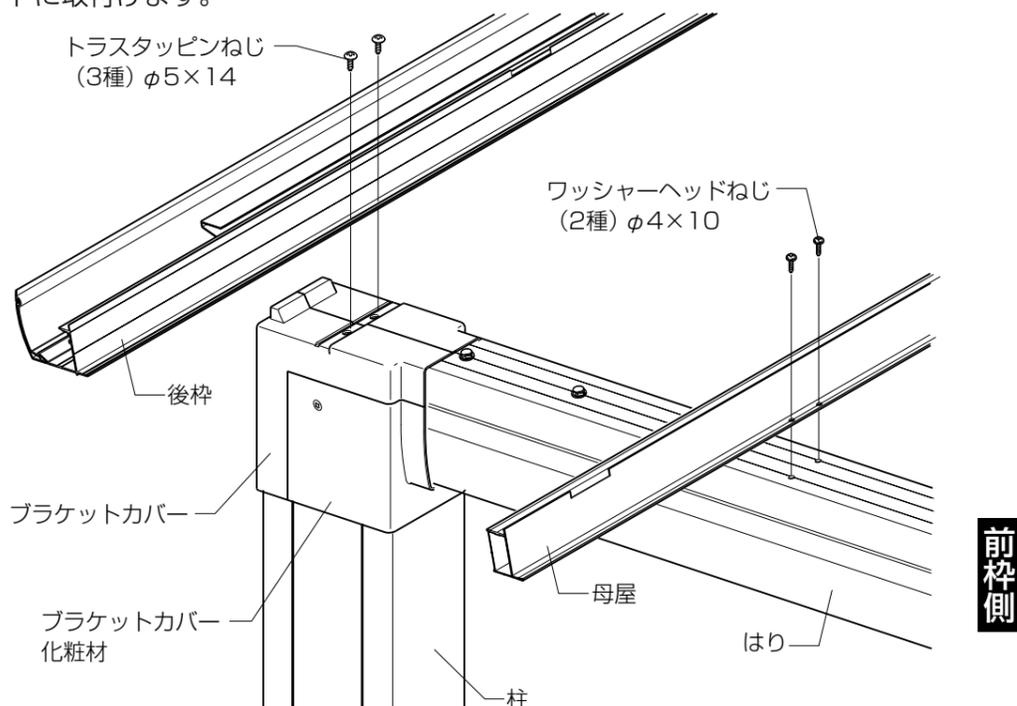


3 前枠・母屋・後枠の取付け



3 前枠・母屋・後枠の取付け

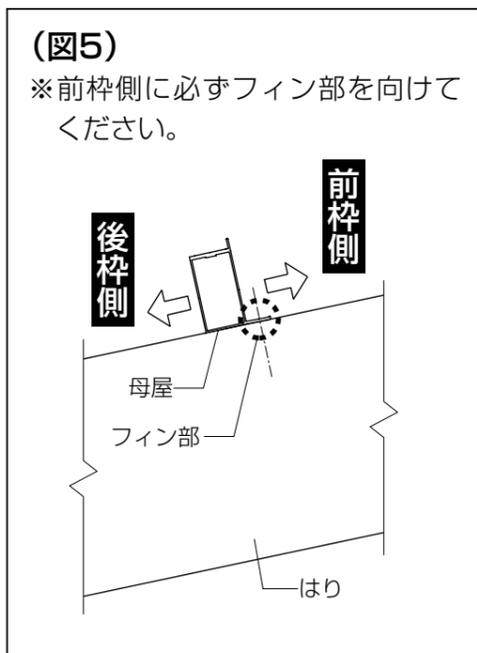
①後枠をブラケットに取付けます。



②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図5)

(図5)

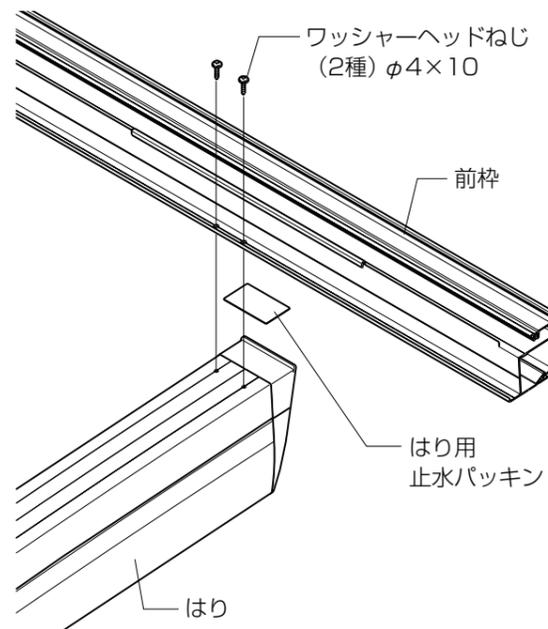
※前枠側に必ずフィン部を向けてください。



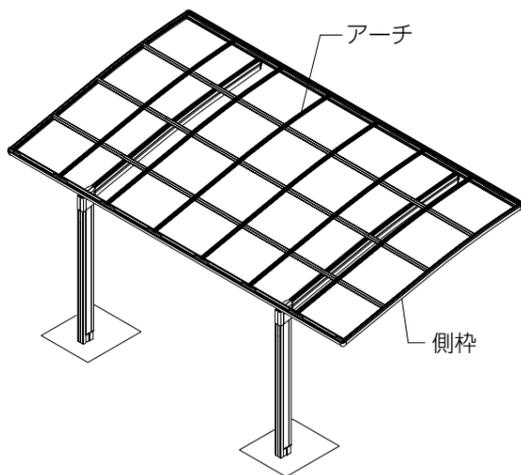
③はりの先端に止水パッキンを取付け、前枠をはりに取付けます。

※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。

※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。



4 側枠・アーチの取付け



4 側枠・アーチの取付け

①前・後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんし(図6)、側枠に取付けます。

※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。

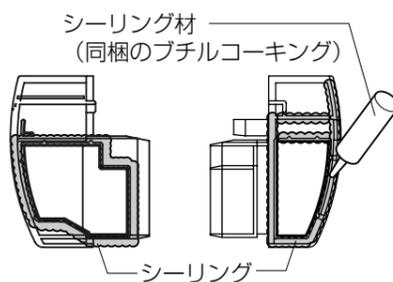
②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。

③アーチの前後を確認し、取付けます。

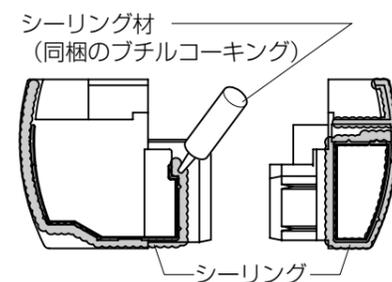
④屋根枠まわりの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。

■シーリング箇所(図6)

●前枠コーナーキャップ



●後枠コーナーキャップ



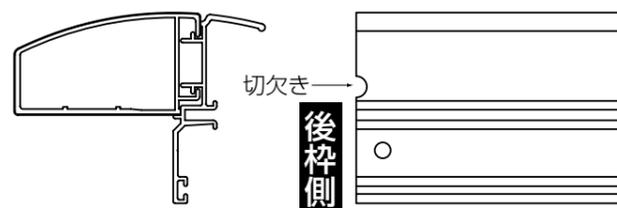
▲注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

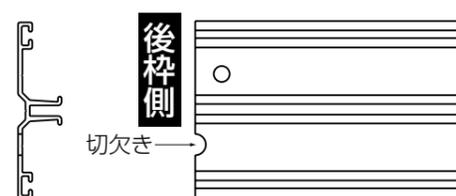
●お願い

※前・後枠、母屋には加工穴がありません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベテクスねじφ4×13で止めてください。

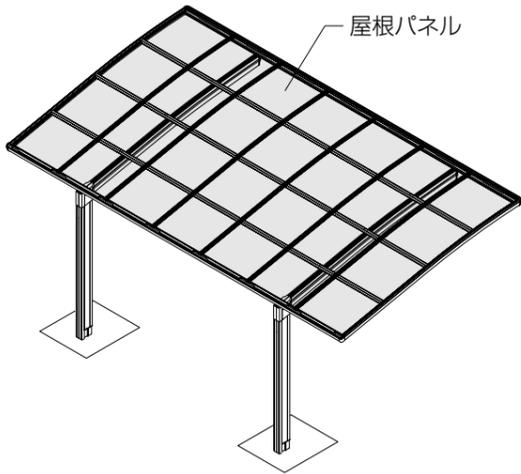
●側枠



●アーチ

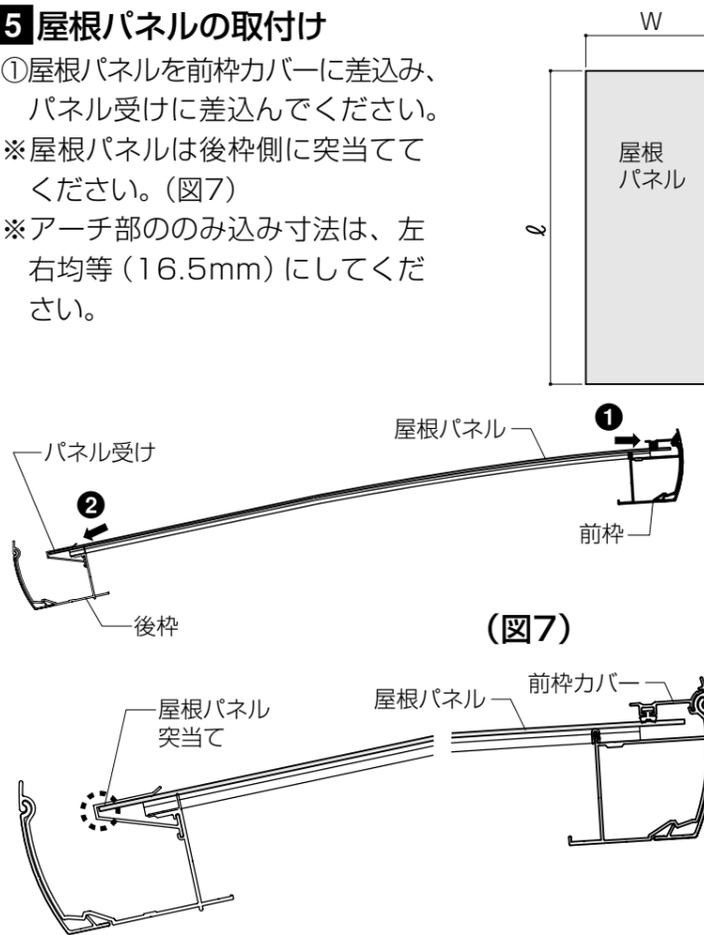


5 屋根パネルの取付け



5 屋根パネルの取付け

- ①屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル受けに差込んでください。
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。(図7)
- ※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。



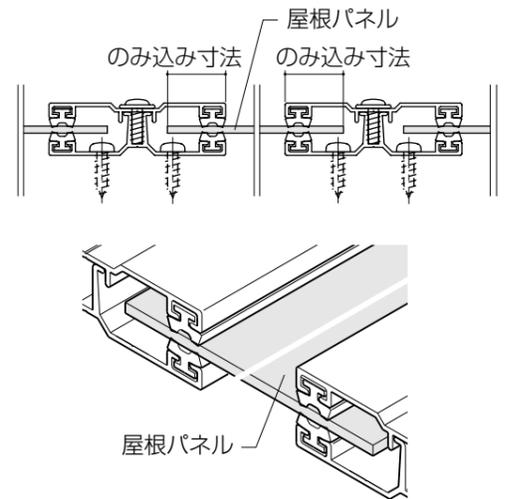
■屋根パネル寸法表

単位mm

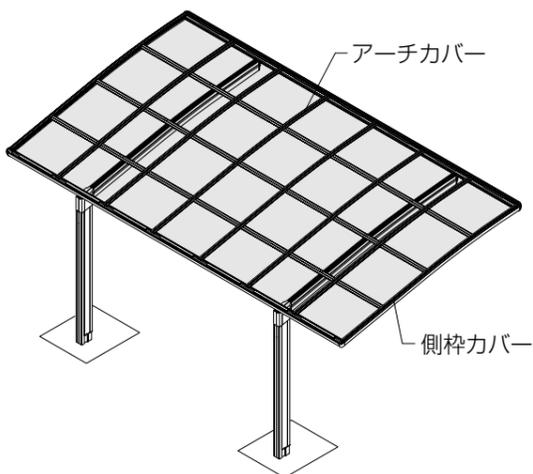
サイズ呼称	ℓ	W
24	2388	689
25.5	2541	
27	2694	
30	3018	

▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルののみ込みが左右均等になるようにしてください。強風により、飛散するおそれがあります。

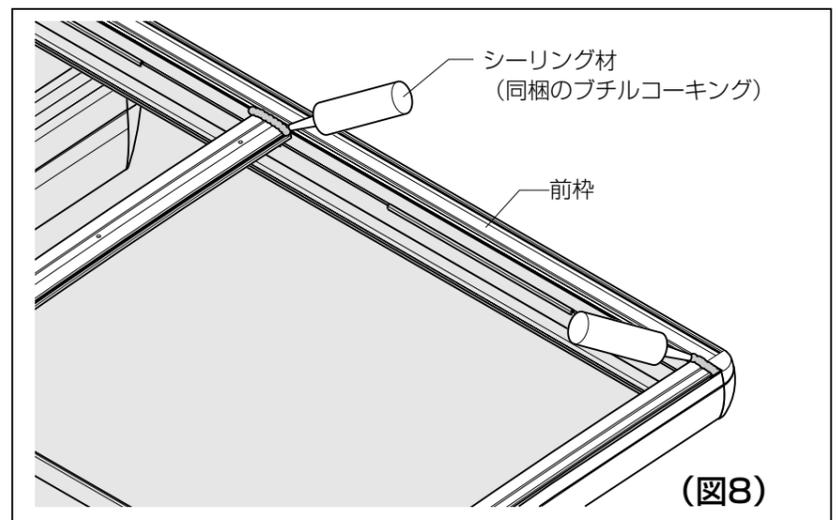


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け



6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

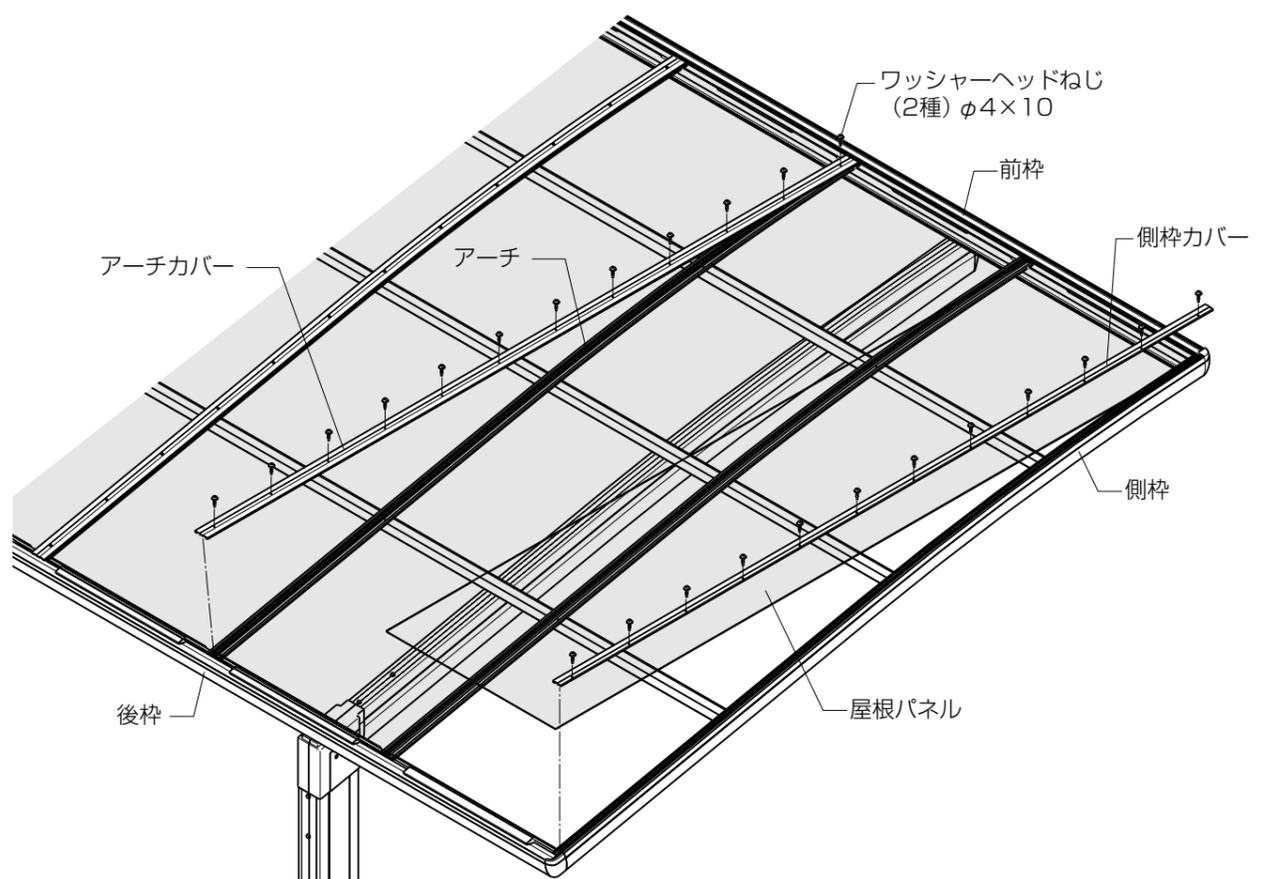
- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突当てます。
- ②前枠側から屋根パネルにねじ止めます。
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
- ③前枠との間にシーリング材を充てんします。(図8)



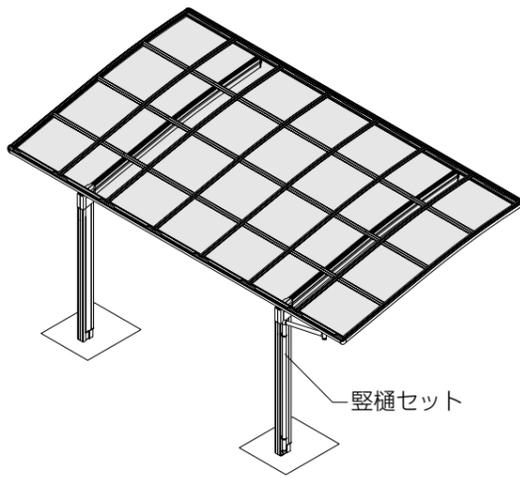
▲ お願い

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

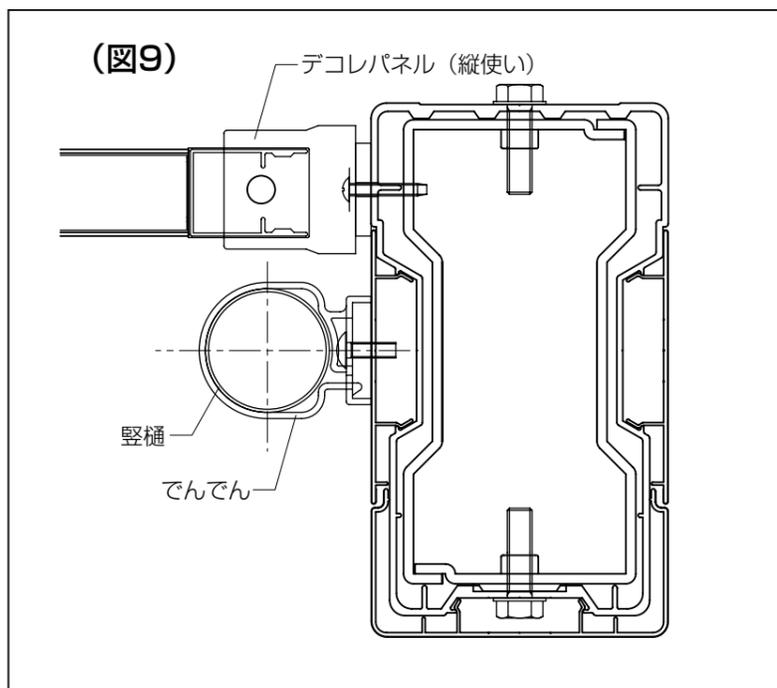
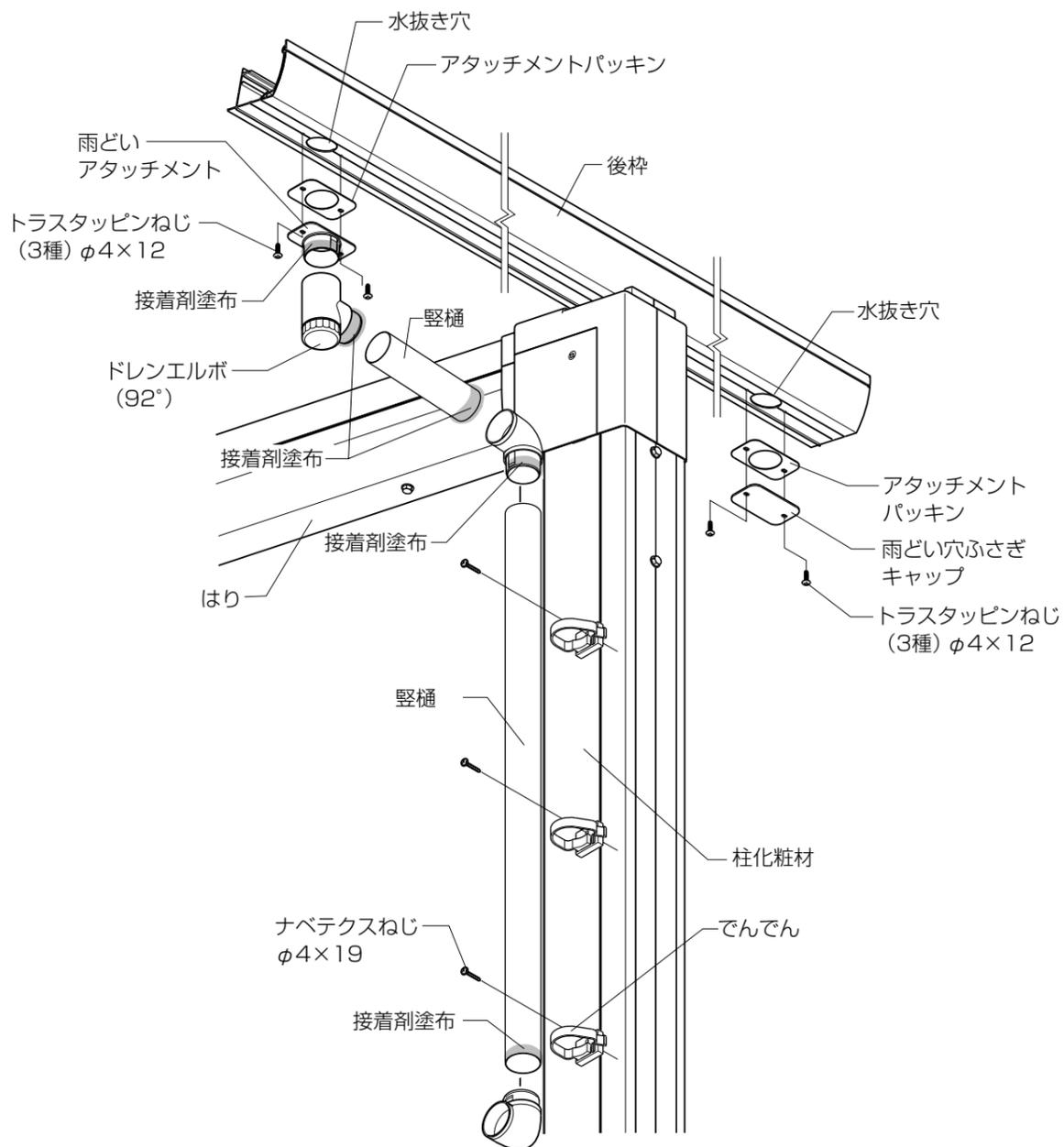


7 樋セットの取付け



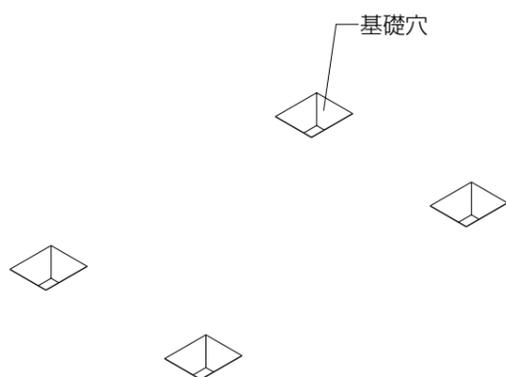
7 樋セットの取付け

- ①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に樋セットを取付けます。
 - ②もう一方の穴に雨どいアタッチメント (穴ふさぎ) を取付けます。
- ※デコレパネル (縦使い) を取付ける場合は、柱の中央に取付けてください。(図9)
 ※デコレーションタイプの場合、でんでんは柱化粧材2にかからないように取付けてください。
 標準タイプの場合は柱の中央に取付けます。

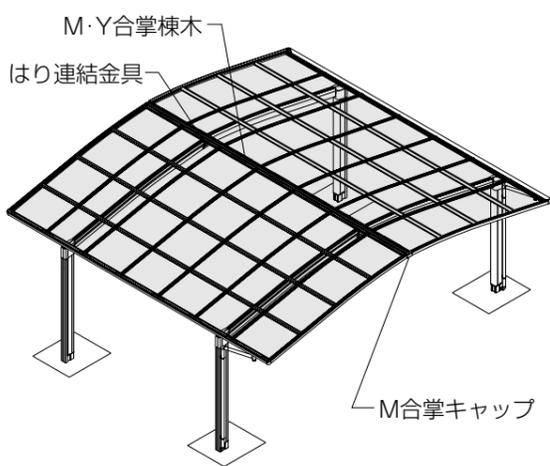


M合掌の取付け

1 基礎の施工



2 本体の組立て



▲ お願い

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
 - シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
 ・東芝シリコン トスシール380
 ・トーレシリコン SE960

1 基礎の施工

① 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
 ※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

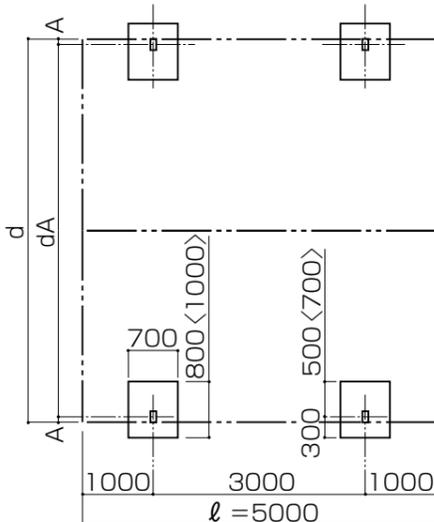
■ 墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
 ※〈 〉内の寸法は30サイズの場合を示します。

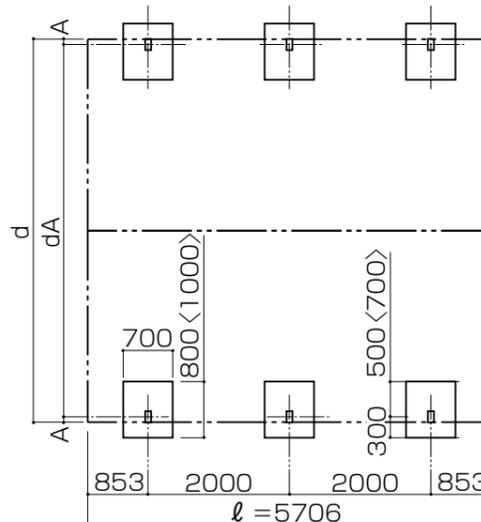
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
24-24	4816	4653	81
25.5-25.5	5116	4953	81
27-27	5416	5253	81
30-30	6014	5849	83

● 50サイズ



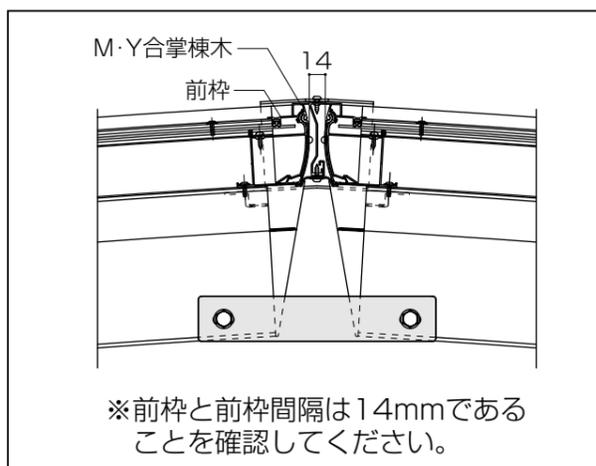
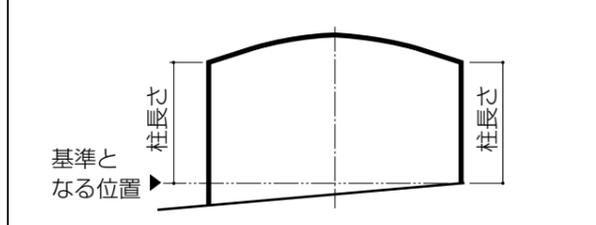
● 57サイズ



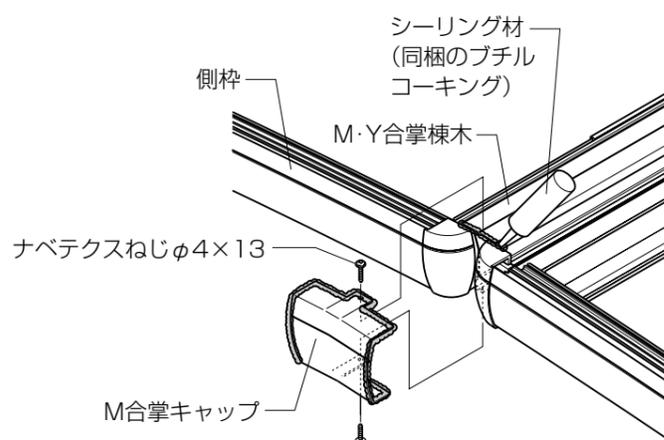
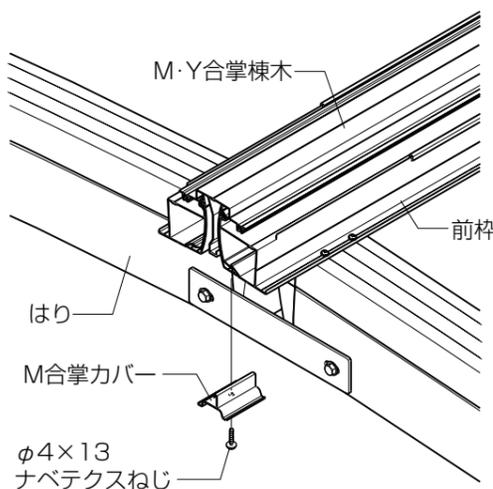
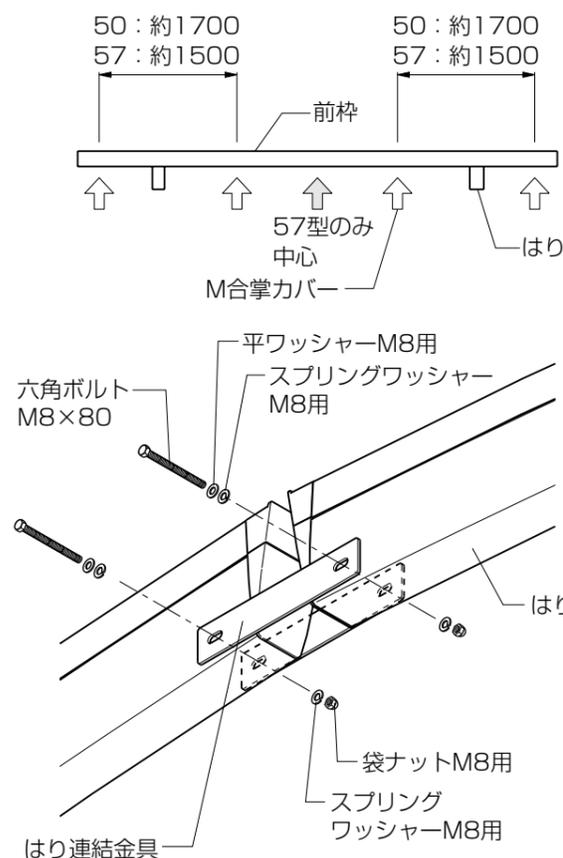
2 本体の組立て

- ① 柱・はりを組立てて建込み、はりのプッシュボタンを外した後、はりとはりをはり連結金具で接続します。
 - ② M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間にのせ、M合掌カバーで固定します。
 - ③ M合掌キャップを取付けます。
- ※M合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。
 ※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図10)

■ 柱長さについて (図10)

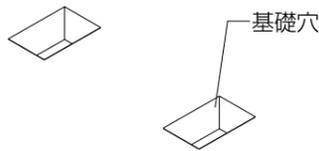


● M合掌カバー取付け位置図

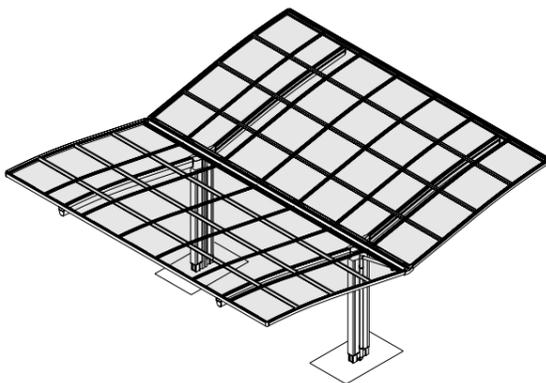


Y合掌の取付け

1 基礎の施工



2 本体の組立て



1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。
- ※ 基礎構造については、基本タイプを参照してください。
- ※ アンカー棒 ($\phi 8 \times 200$) は必ず柱に取付けて施工してください。

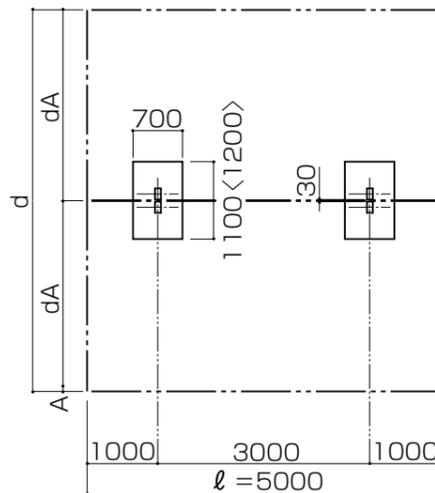
■ 墨出しの位置

- ※ 柱の移動は $\pm 100\text{mm}$ 以内です。
- ※ $\langle \quad \rangle$ 内寸法は30サイズの場合を示します。

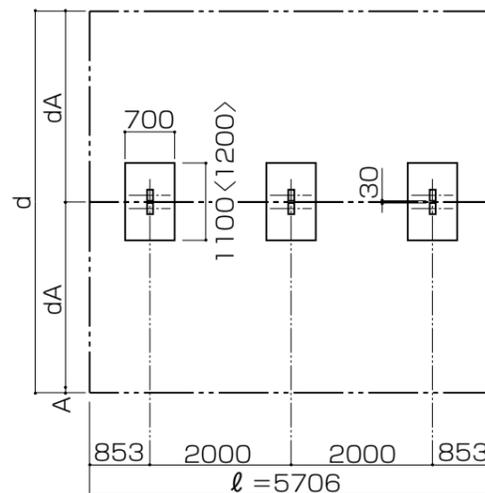
単位mm

サイズ呼称	d	dA
24-24	4828	2414
25.5-25.5	5128	2564
27-27	5428	2714
30-30	6026	3013

● 50サイズ

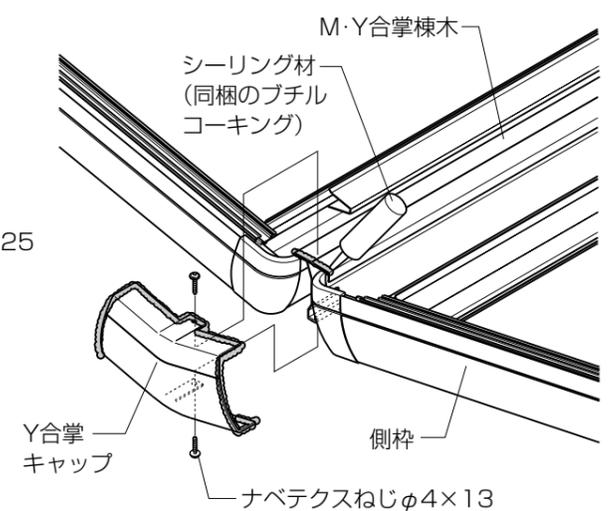
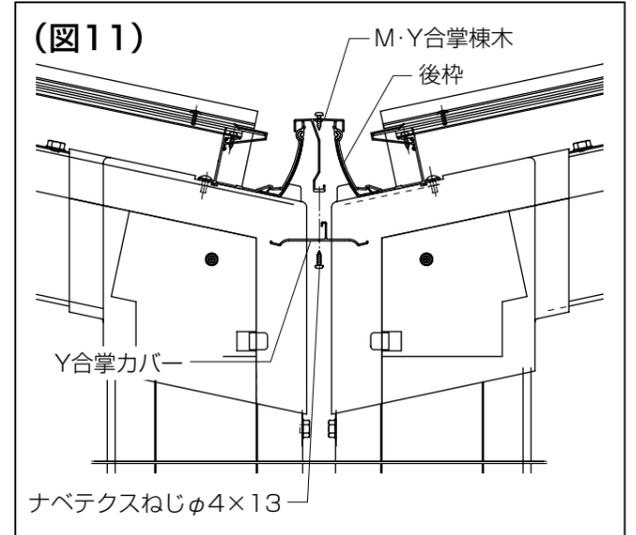
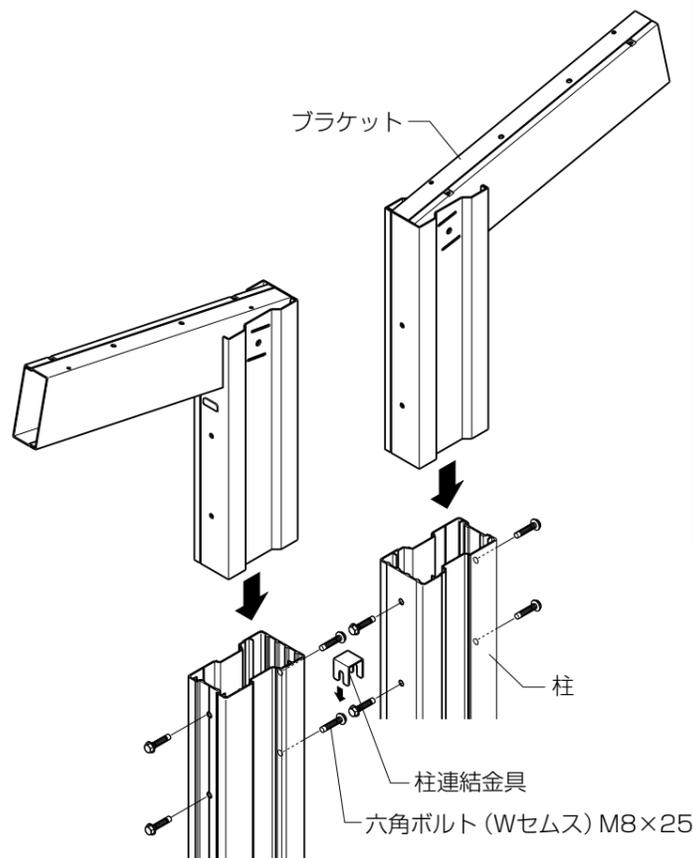


● 57サイズ



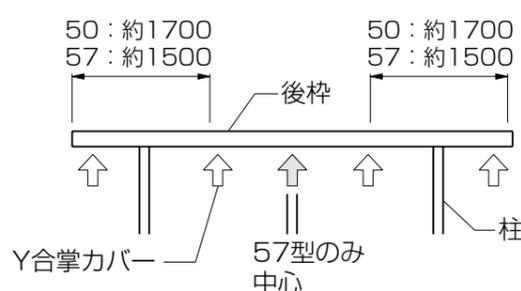
2 本体の組立て

- ① 柱にブラケットを差込み、柱前面のみ固定してください。
- ② 合掌面側のボルトを軽くしめ、すき間に柱連結金具を差込み固定してください。(柱と柱のすき間は29mmです。)
- ※ 柱の上面は同一高さにしてください。
- ※ 柱連結金具は、下側のボルトに止めてください。
- ③ M・Y合掌棟木を後枠の間にのせ、Y合掌カバーで固定します。(図11)
- ④ Y合掌キャップを取付けます。
- ※ Y合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。



※ キャップ固定後、回りにシーリングしてください。

● Y合掌カバー取付け位置図



▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

縦連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
※基礎構造については基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

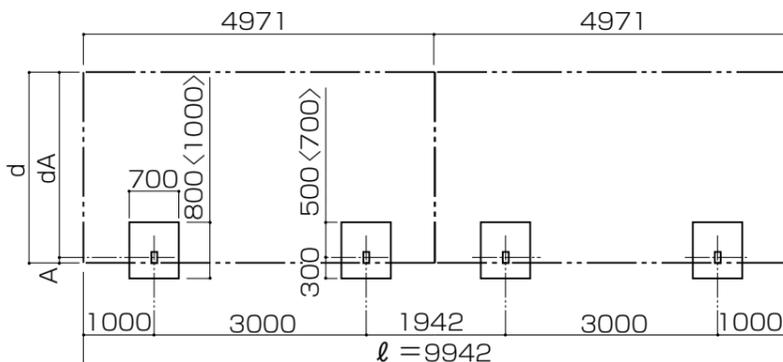
※柱の移動は±100mm以内です。

※〈 〉内寸法は30サイズの場合を示す。

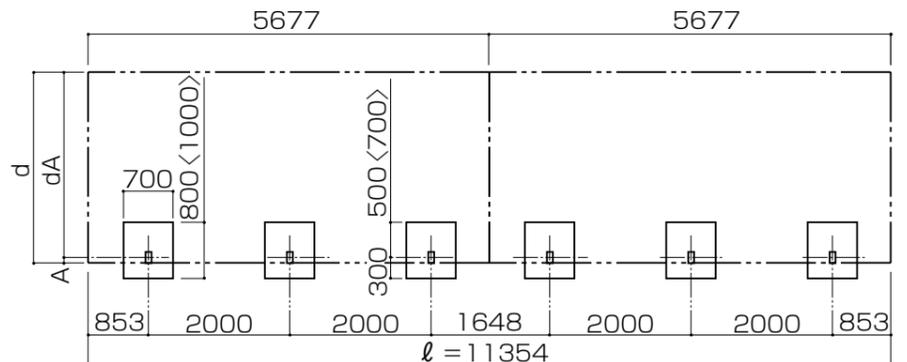
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2319	81
25.5	2551	2469	81
27	2701	2619	81
30	3000	2917	83

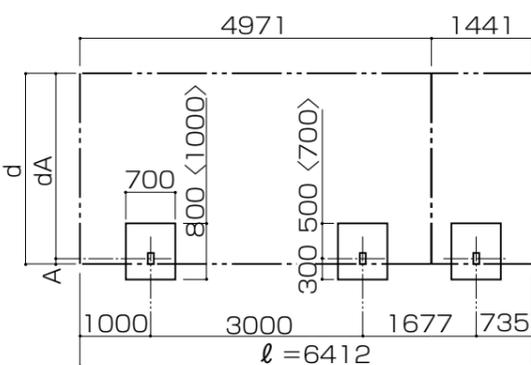
●50サイズ+50サイズ



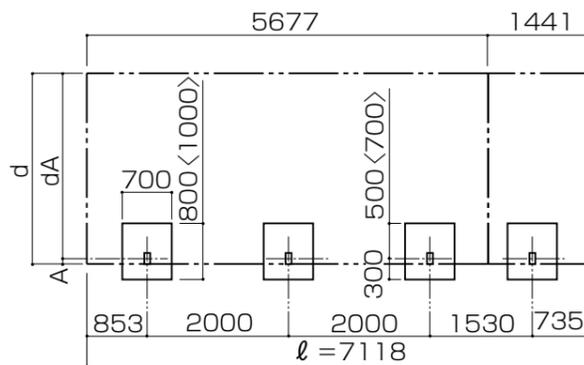
●57サイズ+57サイズ



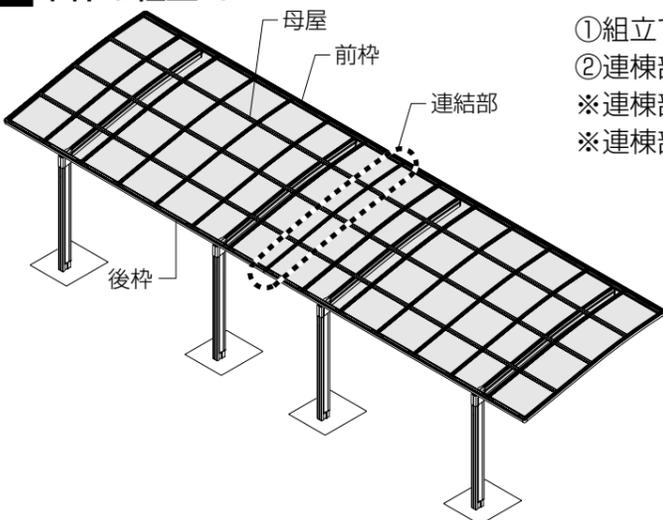
●50サイズ+14サイズ



●57サイズ+14サイズ



2 本体の組立て



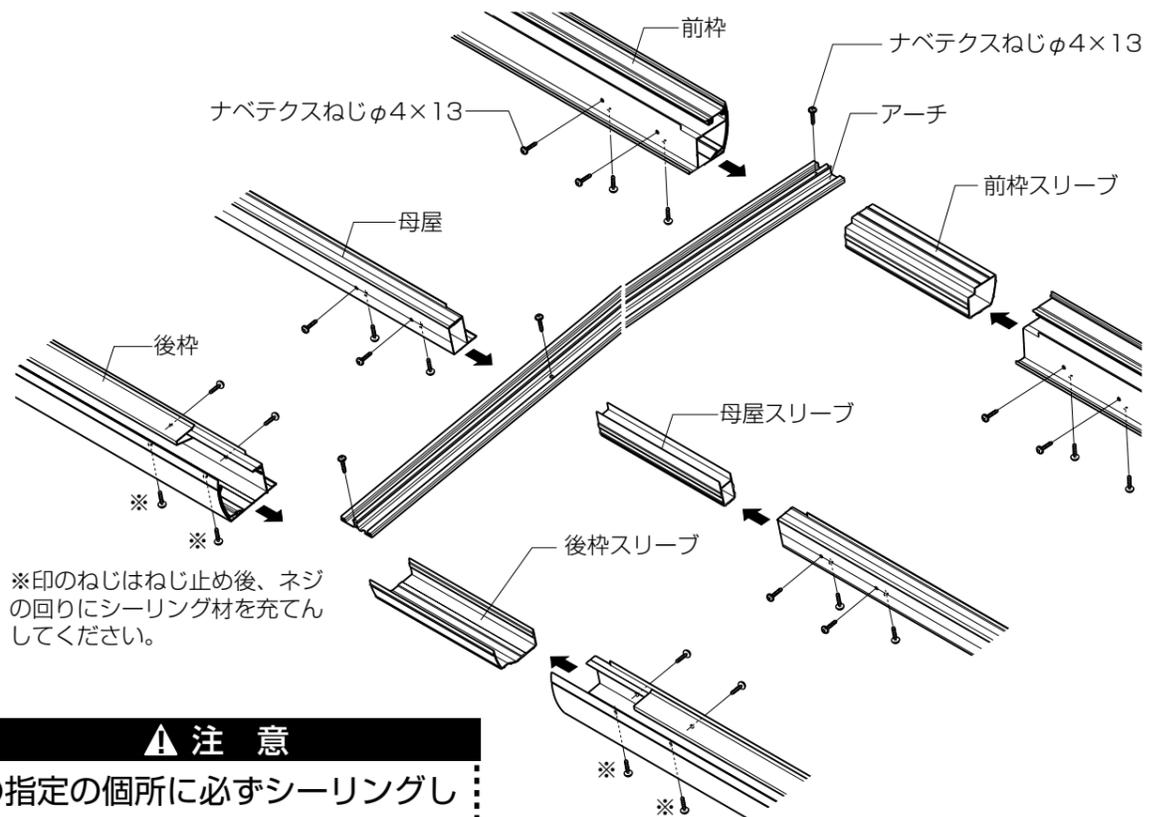
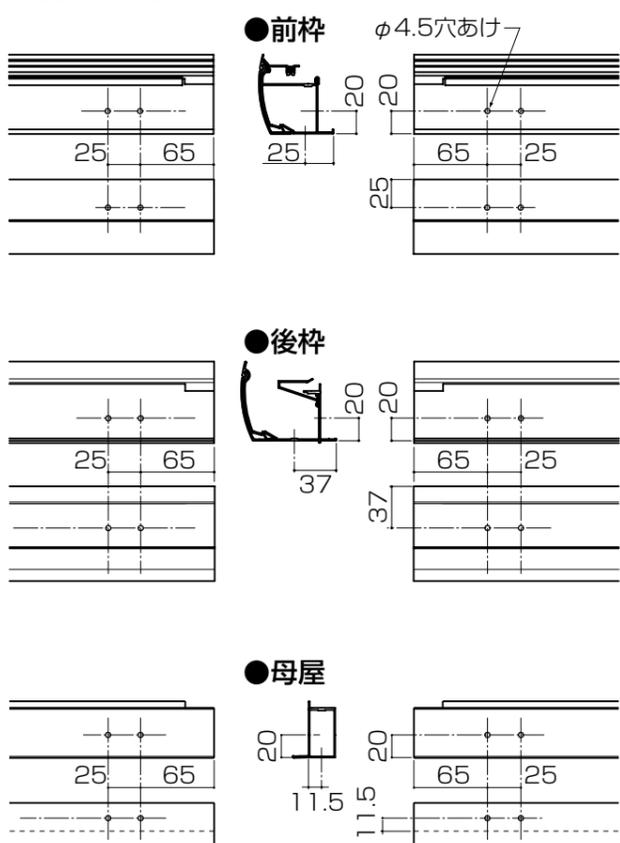
①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図12)

②連棟部分を組立てます。

※連棟部分にシーリング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。

※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

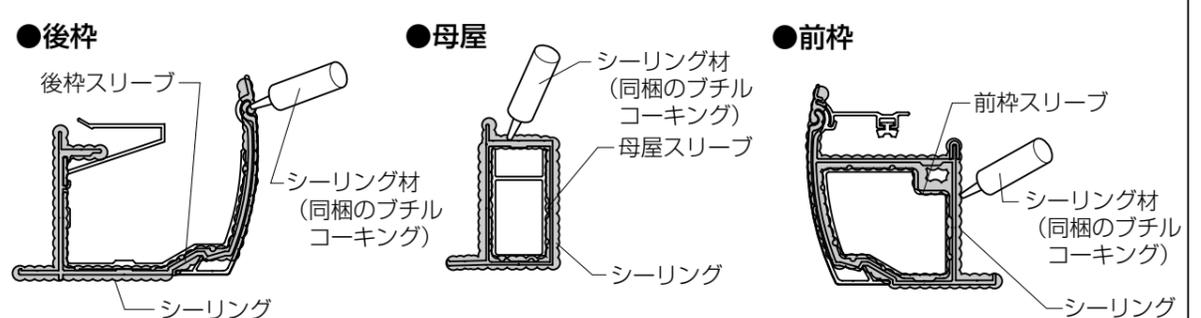
■前枠・母屋・後枠加工図(図12)



▲注意

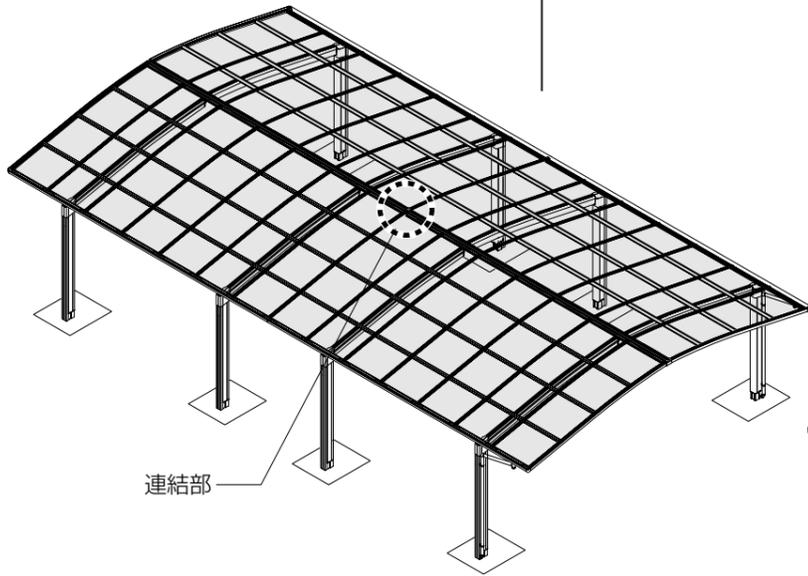
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■シーリング箇所

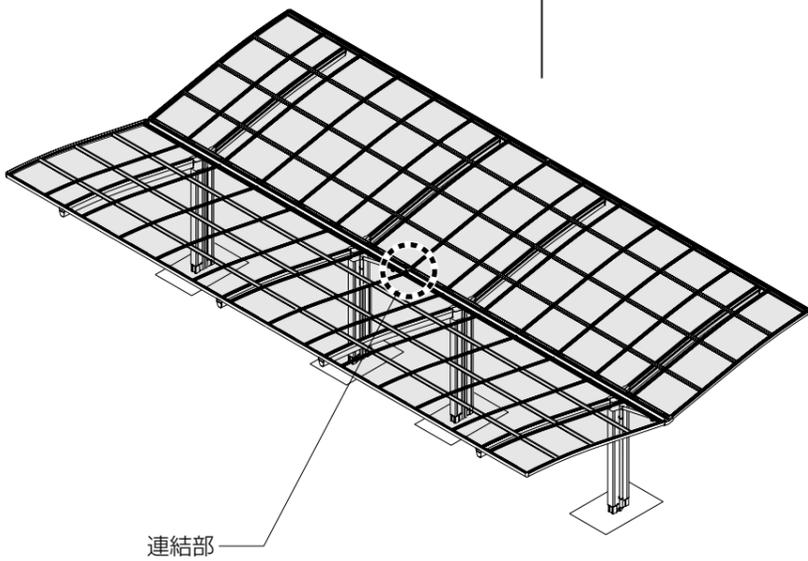


3 M合掌・Y合掌の縦連棟

■M合掌縦連棟



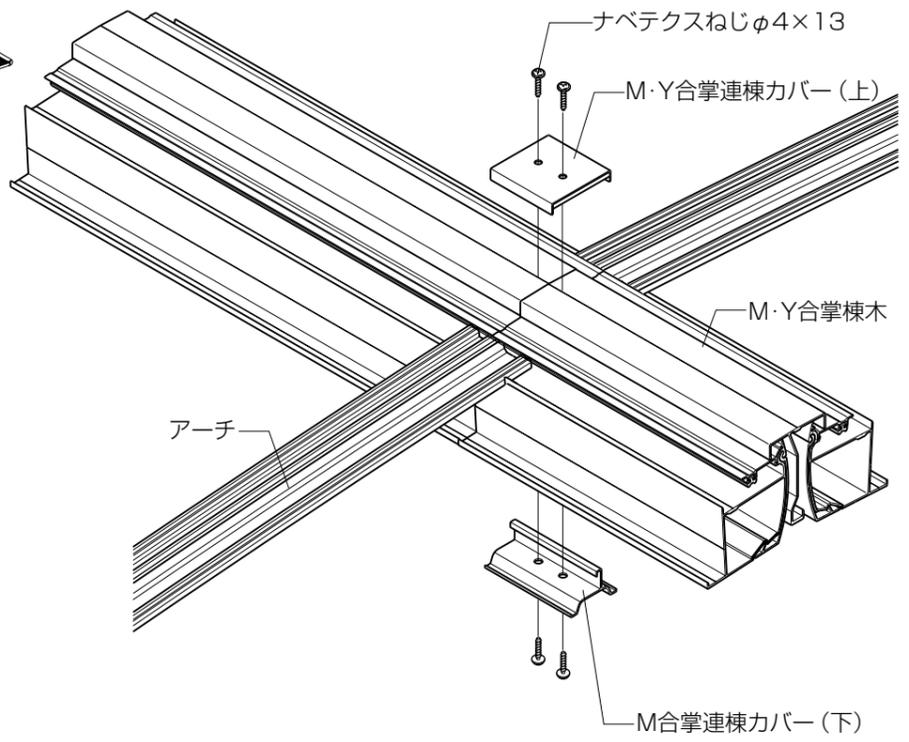
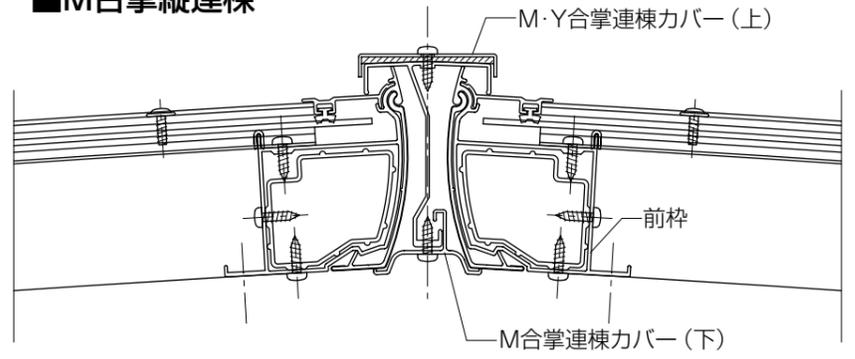
■Y合掌縦連棟



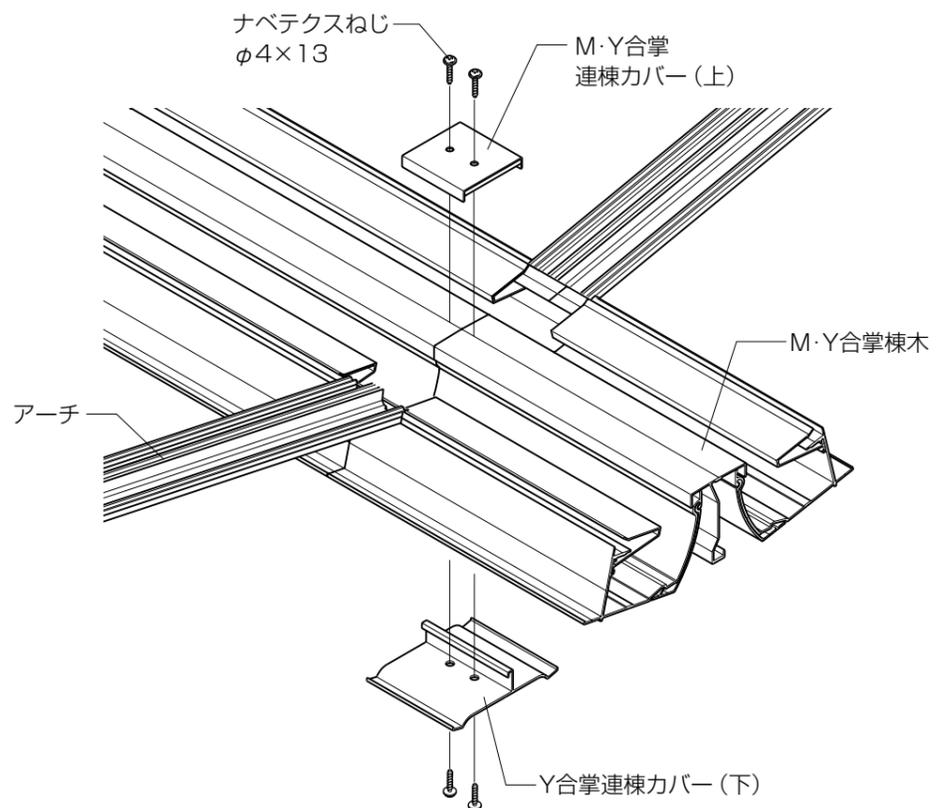
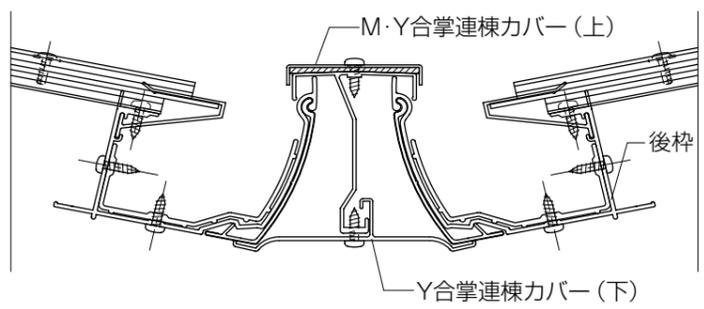
3 M合掌・Y合掌の縦連棟

①M・Y合掌の棟木の接続部に、M・Y合掌縦連棟カバー(上)、(下)を取付けます。
※連棟部以外の取付けは、M合掌・Y合掌の取付けを参照してください。

■M合掌縦連棟



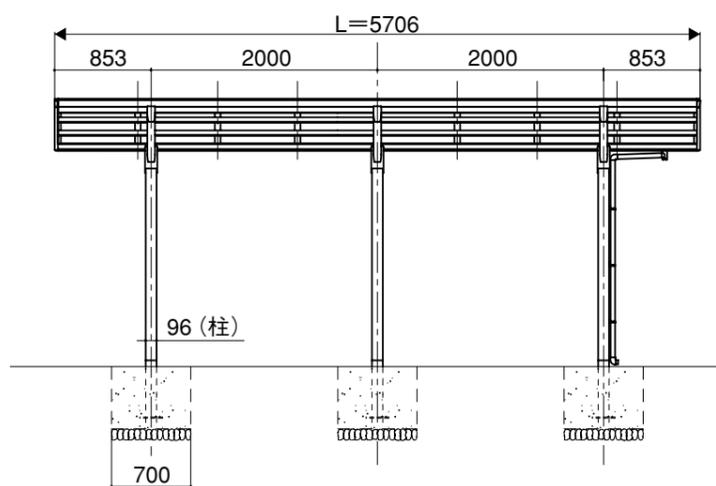
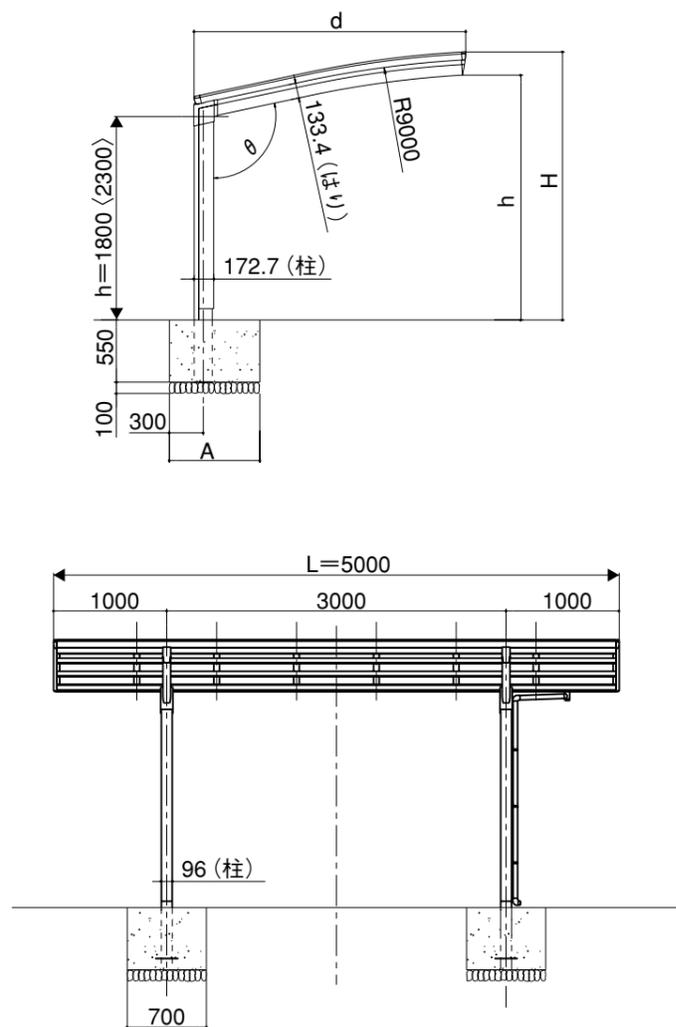
■Y合掌縦連棟



■納まり図

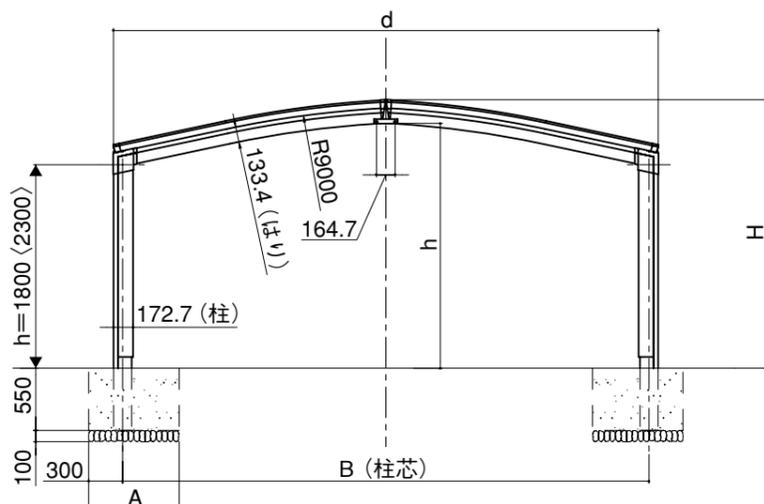
●基本タイプ

※本図は、h=18サイズを示します。ロング柱仕様は、〈 〉に示します。



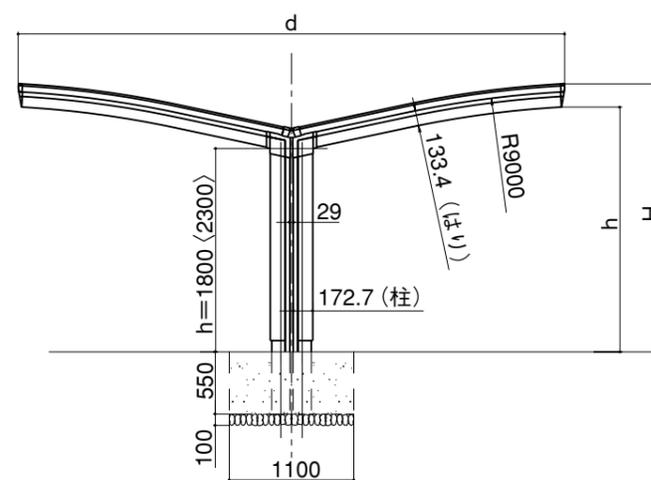
サイズ	d	h	H	A	θ
24	2401	2166 (2666)	2371.4 (2871.4)	800	102°
25.5	2551	2198.4 (2698.4)	2403.2 (2903.4)	800	102°
27	2701	2229.8 (2729.8)	2435.2 (2935.2)	800	102°
30	3001	2375.9 (2875.9)	2581.4 (3081.4)	1000	105°

●M合掌



サイズ	d	h	H	A	B	θ
24-24	4817	2160.6 (2660.6)	2375.0 (2875.0)	800	4648	102°
25.5-25.5	5117	2193.5 (2693.5)	2407.9 (2907.9)	800	4948	102°
27-27	5417	2225.4 (2725.4)	2439.8 (2939.8)	800	5248	102°
30-30	6017	2371.9 (2871.9)	2586.3 (3086.3)	1000	5846	105°

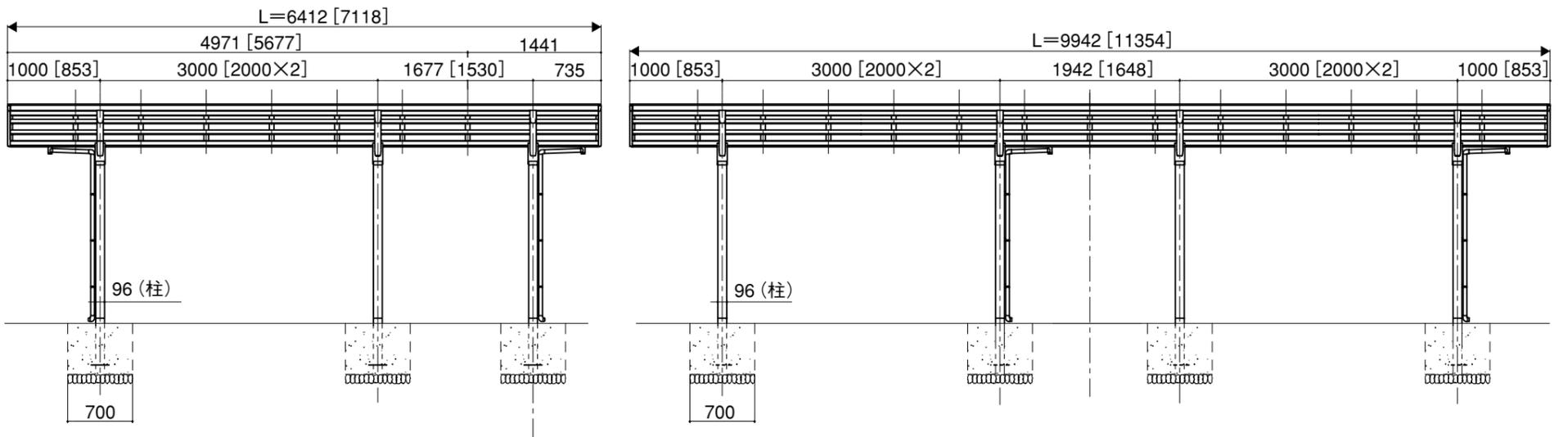
●Y合掌



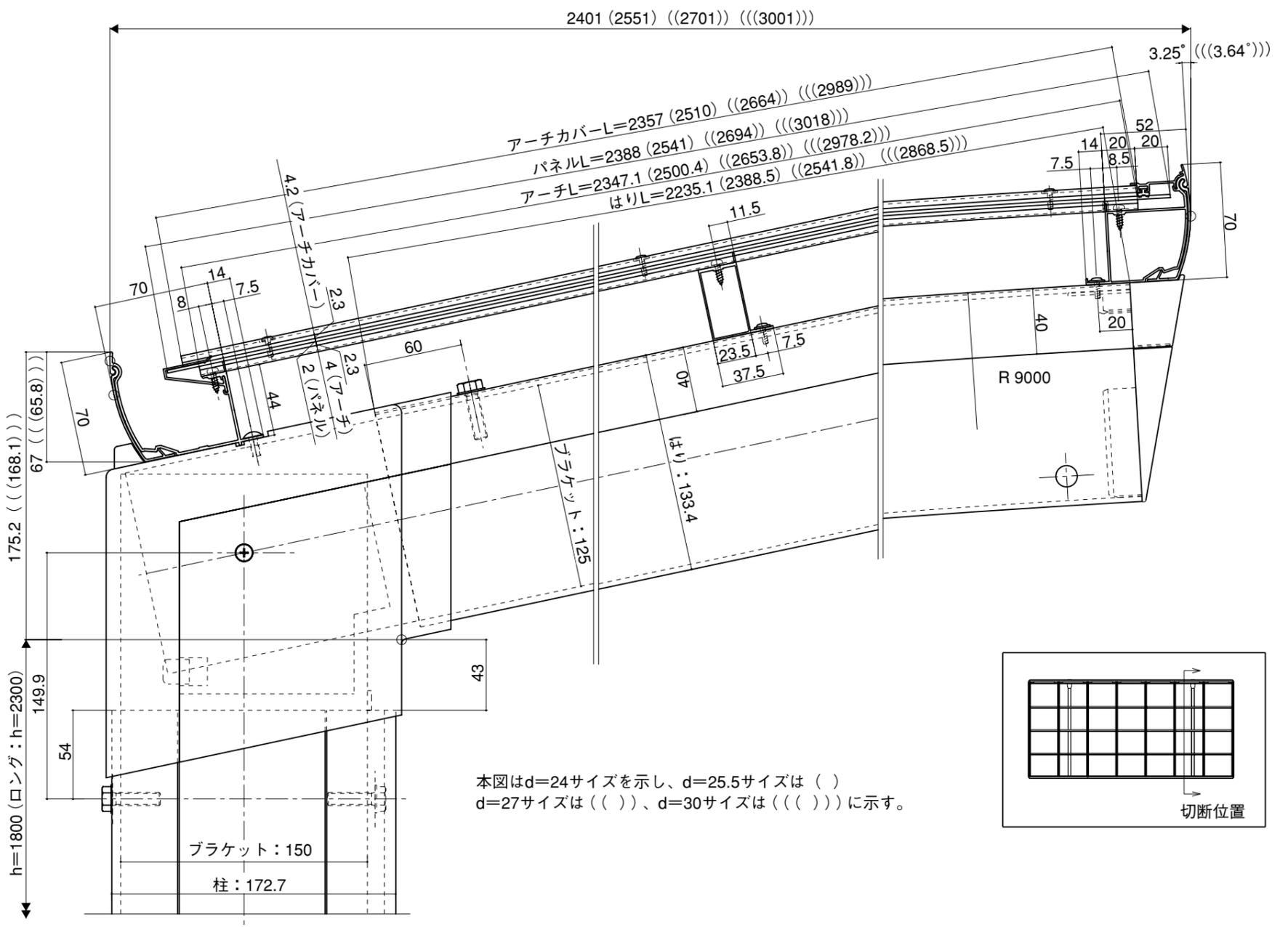
サイズ	d	h	H	θ
24-24	4828	2166.0 (2666.0)	2371.4 (2871.4)	102°
25.5-25.5	5128	2198.4 (2698.4)	2403.2 (2903.2)	102°
27-27	5428	2229.8 (2729.8)	2435.2 (2935.2)	102°
30-30	6026	2375.9 (2875.9)	2581.4 (3081.4)	105°

●縦連棟

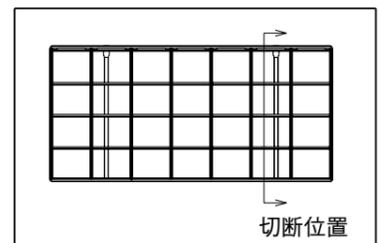
※本図は、L=50サイズを示します。L=57サイズは、[]に示します。



●断面図



本図はd=24サイズを示し、d=25.5サイズは ()
d=27サイズは (())、d=30サイズは ((())) に示す。



■梱包明細書

①柱セット (標準タイプ)

名 称	員 数			
	2本入	3本入	ロング2本入	ロング3本入
柱	2	3	—	—
ロング柱	—	—	2	3
取扱説明書	1	1	1	1

②柱セット (デコレーションタイプ)

名 称	員 数			
	2本入	3本入	ロング2本入	ロング3本入
柱	2	3	—	—
ロング柱	—	—	2	3
柱化粧材1	2	3	2	3
柱化粧材2	4	6	4	6
取扱説明書	1	1	1	1

③はりセット

名 称	員 数	
	2本入	3本入
はり	2	3

④縦樋セット

名 称	員 数
縦樋 (L=3100 φ40)	1

⑤ブラケットセット (標準タイプ)

名 称	員 数	
	2本入	3本入
ブラケット	2	3
ブラケットカバー R・L	各2	各3
φ5×55 皿タッピンねじ	2	3

⑥ブラケットセット (デコレーションタイプ)

名 称	員 数	
	2本入	3本入
ブラケット	2	3
ブラケットカバー R・L	各2	各3
ブラケットカバー化粧材	2	3
φ5×60 皿タッピンねじ	2	3
φ5×20 皿タッピンねじ	2	3

⑦幅セット

名 称	員 数	
	50型	57型
側枠 R・L	各1	各1
側枠カバー	2	2
アーチ	6	7
アーチカバー	6	7

⑧連棟用幅セット

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
アーチ	7	8	2
アーチカバー	7	8	2

⑨長さセット

名 称	員 数								
	50型			57型			14型		
	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入
前枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋	2	3	4	2	3	4	2	3	4
縦樋 (L=3100 φ40)	1	1	1	1	1	1	—	—	—

⑩部品セット (標準タイプ)

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
前枠コーナーキャップ R・L	各1	各1	—
後枠コーナーキャップ R・L	各1	各1	—
梁キャップ	2	3	1
梁用止水パッキン	2	3	1
M8×25 六角ボルトWセムス	14	21	7
φ5×14 トラストタッピンねじ	4	6	2
φ4×10 ワッシャーヘッドねじ	118(162)	138(189)	38(50)
φ4×13 ナベテクスねじ	42(50)	47(56)	17(20)
アンカー棒	2	3	1
シーリング材 (ブチルコーキング)	1	1	1
孔隠しシール	30	40	20
雨樋アタッチメント	1	1	1
孔ふさぎキャップ	1	1	1
アタッチメントパッキン	2	2	2
ドレンエルボ φ40用	1	1	1
92° エルボ φ40用	2	2	2
でんでん	3	3	3
φ4×12 トラストタッピンねじ	4	4	4
φ4×19 ナベテクスねじ	3	3	3
接着剤	1	1	1
取付説明書	1	1	—

※ () 内は間口30型

■梱包明細書 つづき

11)部品セット (デコレーションタイプ)

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
前枠コーナーキャップR・L	各1	各1	—
後枠コーナーキャップR・L	各1	各1	—
梁キャップ	2	3	1
梁用止水パッキン	2	3	1
M8×25 六角ボルトWセムス	14	21	7
φ5×14 トラストッピンねじ	4	6	2
φ4×10 ワッシャーヘッドねじ	118(162)	138(189)	38(50)
φ4×13 ナベテクスねじ	42(50)	47(56)	17(20)
アンカー棒	2	3	1
コーキング材	1	1	1
孔隠しシール	30	40	20
雨樋アタッチメント	1	1	1
孔ふさぎキャップ	1	1	1
アタッチメントパッキン	2	2	2
ドレンエルボ φ40用	1	1	1
92° エルボ φ40用	2	2	2
でんでん	3	3	3
φ4×12 トラストッピンねじ	4	4	5
φ4×19 ナベテクスねじ	3	3	3
接着剤	1	1	1
柱化粧材キャップ	2	3	1
φ4×25 ナベテクスねじ	6	9	3
φ4×20 皿タッピンねじ	4	6	2
取付説明書	1	1	—

12)M・Y合掌棟木セット

※ () 内は間口30型

名 称	員 数
M・Y合掌棟木	1

13)M合掌部品セット

名 称	員 数		
	50型	57型	14型
M合掌カバー材 (下)	4	5	2
M合掌キャップ	2	2	—
梁連結材	4	6	2
M8×75 六角ボルト	4	6	2
M8用 平座金	8	12	4
M8用 バネ座金	4	6	2
M8用 袋ナット	4	6	2
φ4×13 ナベテクスねじ	8	9	2

14)Y合掌部品セット

名 称	員 数	
	50型	57型
Y合掌カバー材 (下)	4	5
Y合掌キャップ	2	2
Y合掌用柱連結金具	2	3
φ4×13 ナベテクスねじ	8	9

15)M合掌連棟部品セット

名 称	員 数
M Y合掌縦連棟カバー材 (上)	1
M合掌縦連棟カバー材 (下)	1
φ4×13 ナベテクスねじ	4

16)Y合掌連棟部品セット

名 称	員 数
M Y合掌縦連棟カバー材 (上)	1
Y合掌縦連棟カバー材 (下)	1
φ4×13 ナベテクスねじ	4

17)屋根材セット

名 称	員 数	
	3枚入り	4枚入
屋根パネル	3	4

18)連棟部材セット

名 称	員 数	
	24~27用	30用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	3	4
φ4×13 ナベテクスねじ	42	50

